



CompTIA A+ 試験出題範囲

試験番号: 220-802

CompTIA A+を取得するためには、2つ認定資格試験に合格をする必要があります。最初の試験は、CompTIA A+220-801認定資格試験(試験番号:220-801)です。そして、CompTIA A+取得のためには、CompTIA A+220-802認定資格試験(試験番号:220-802)に合格する必要があります。

CompTIA A+220-802認定資格試験は、少なくとも12カ月の実務経験、もしくはラボや現場にて必要とされるスキルと知識を評価するための試験です。この試験を合格された方は、顧客のニーズに基づいたコンポーネントの組み立て、設置/実装、設定やデバイスのメンテナンスを理解していることが証明されます。また、エンドユーザーが利用するPCやソフトウェアのネットワークやセキュリティ/フォレンジックの基本を理解し、共通で使用されるハードウェアやソフトウェアを適切かつ安全に分析すると共に、トラブルシューティングできる問題解決スキルも身につけていることが証明されます。また、カスタマーサポートや、仮想化の基本的な理解やデスクトップイメージングや機材の配備などについても充分理解されています。

CompTIA A+は、ISO 17024より認定(Personnel Certification Accreditation)を受けており、定期的な出題範囲の見直しおよびアップデートを行っています。CompTIA A+220-802認定資格試験の出題範囲は、専門分野のエキスパート(Subject matter expert)により開催されるワークショップによりベースが作成され、ワールドワイドで実施される業界の皆様へのWebサーベイにより策定され、エントリーレベルのITエンジニアに必要とされるスキルと知識が網羅されています。出題範囲内の出題比率は、各出題分野(ドメイン)に含まれるスキル項目の重要性を表し、エントリーレベルのITエンジニアとしてのスキル基盤を作る上で必要なスキルとなります。

この出題範囲には、出題分野、出題比率、出題例が含まれています。出題例は出題項目を明確にするためであり、試験の出題内容そのものを反映している訳ではありませんので、ご注意ください。

CompTIA A+取得を目指す受験者の皆様は、この出題範囲を学習のガイドとして使用していただくことが可能です。出題範囲のリストは、それぞれの試験がどのような試験分野より出題されるかをご確認いただくことができます。CompTIA A+220-801認定資格試験は、下記の出題範囲の項目をベースに試験が作成されています。

以下は試験分野および各分野の出題比率表です。^{※1}

試験分野	出題比率
第1章 オペレーティングシステム	33%
第2章 セキュリティ	22%
第3章 モバイルデバイス	9%
第4章 トラブルシューティング	36%
合計	100%

^{※1} 分野別に取扱例があげられていますが、これらがすべての出題傾向を網羅しているわけではありません。また、この出題範囲に掲載がない場合でも各分野に関連する技術、プロセス、あるいはタスクについて、試験に含まれる可能性があります。本出題範囲は、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

CompTIA では、提供している認定資格試験の内容にて現在必要とされているスキルを反映するため、また試験問題の信頼性維持のため、定期的な改訂を行っています。必要な場合、現在の出題を基に試験を改訂する場合があります。この場合、現在の試験に関連する資料・教材等は、継続的にご利用いただくことが可能です。

第1章 オペレーティングシステム(33%)

1.1 Microsoft の各種オペレーティングシステムの機能および要件を比較対照できる。

- Windows XP Home、Windows XP Professional、Windows XP Media Center、Windows XP 64-bit Professional
- Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business、Windows Vista Ultimate、Windows Vista Enterprise
- Windows 7 Starter、Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise
- 機能:
 - ・ 32ビットと64ビット
 - ・ エアロ、ガジェット、ユーザーアカウント制御、ビットロッカー、シャドウコピー、システムリストア、レディブースト、サイドバー、互換性モード、XP モード、イージートランスファ、管理ツール、ディフェンダー、Windows ファイアウォール、セキュリティセンター、イベントビューア、ファイル構造およびパス、カテゴリレビューとクラシックビュー
- アップグレードパス - in-place アップグレード、互換性ツール、Windows アップグレード OS アドバイザの違い

1.2 あるシナリオを想定した場合に、最適な方法を使用して、オペレーティングシステムをインストールおよび設定できる。

- ブート方法
 - ・ USB
 - ・ CD-ROM
 - ・ DVD
 - ・ PXE
- インストールのタイプ
 - ・ イメージの作成
 - ・ 無人インストール
 - ・ アップグレード
 - ・ クリーンインストール
 - ・ リペアインストール
 - ・ マルチブート
 - ・ リモートネットワークインストール
 - ・ イメージの配置
- パーティショニング
 - ・ ダイナミック
 - ・ 基本
 - ・ プライマリ
 - ・ 拡張
 - ・ 論理
- ファイルシステムのタイプ/フォーマット
 - ・ FAT
 - ・ FAT32
 - ・ NTFS
 - ・ CDFS
 - ・ クイックフォーマットとフルフォーマット
- 必要に応じて、代わりにサードパーティ製ドライバをロードする
- ワークグループとドメインのセットアップ
- 時刻/日付/地域/言語の設定
- ドライバのインストール、ソフトウェアおよび Windows のアップデート

- 工場出荷時リカバリパーティション

1.3 あるシナリオを想定した場合に、適切なコマンドラインツールを使用できる。

- ネットワーク
 - ・ PING
 - ・ TRACERT
 - ・ NETSTAT
 - ・ IPCONFIG
 - ・ NET
 - ・ NSLOOKUP
 - ・ NBTSTAT
- OS
 - ・ TASKKILL
 - ・ BOOTREC
 - ・ SHUTDOWN
 - ・ TASKLIST
 - ・ MD
 - ・ RD
 - ・ CD
 - ・ DEL
 - ・ FDISK
 - ・ FORMAT
 - ・ COPY
 - ・ XCOPY
 - ・ ROBOCOPY
 - ・ DISKPART
 - ・ SFC
 - ・ CHKDSK
 - ・ [command name] /?
- リカバリコンソール
 - ・ Fixboot
 - ・ Fixmbr

1.4 あるシナリオを想定した場合に、適切なオペレーティングシステム機能およびツールを使用できる。

- 管理
 - ・ コンピューターの管理
 - ・ デバイスマネージャー
 - ・ ユーザーとグループ
 - ・ ローカルセキュリティポリシー
 - ・ パフォーマンスモニター
 - ・ サービス
 - ・ システム構成
 - ・ タスクスケジューラ
 - ・ コンポーネントサービス
 - ・ データソース
 - ・ 印刷管理
 - ・ Windows メモリ診断
 - ・ Windows ファイアウォール
 - ・ セキュリティ強化
- MSCONFIG
 - ・ 全般

- ・ ブート
- ・ サービス
- ・ スタートアップ
- ・ ツール
- タスクマネージャー
 - ・ アプリケーション
 - ・ プロセス
 - ・ パフォーマンス
 - ・ ネットワーク
 - ・ ユーザー
- ディスク管理
 - ・ ドライブのステータス
 - ・ マウント
 - ・ パーティションの拡張
 - ・ パーティションの分割
 - ・ ドライブ名の割り当て
 - ・ ドライブの追加
 - ・ アレイの追加
- その他
 - ・ User Data Migration tool (UDMT)
 - ・ ユーザー状態移行ツール (USMT)
- ラインユーティリティの実行
 - ・ MSCONFIG
 - ・ REGEDIT
 - ・ CMD
 - ・ SERVICES.MSC
 - ・ MMC
 - ・ MSTSC
 - ・ NOTEPAD
 - ・ EXPLORER
 - ・ MSINFO32
 - ・ DXDIAG

1.5 あるシナリオを想定した場合に、コントロールパネルユーティリティを使用できる。(アイテムは Windows の「ク ラシックビュー/大きいアイコン」別にまとめられている)

- Microsoft のすべてのオペレーティングシステムに共通
 - ・ インターネットオプション
 - －接続
 - －セキュリティ
 - －全般
 - －プライバシー
 - －プログラム
 - －詳細
 - ・ ディスプレイ/ディスプレイ設定
 - －解像度
 - ・ ユーザーアカウント
 - ・ フォルダオプション
 - －共有
 - －隠しファイルを表示
 - －拡張子を表示しない
 - －レイアウト

- ・ システム
 - －パフォーマンス(仮想メモリ)
 - －リモート設定
 - －システム保護
- ・ Windows ファイアウォール
- ・ 電源オプション
 - －休止状態
 - －電源プラン
 - －スリープ/一時停止
 - －スタンバイ
- Windows XP 特有
 - ・ プログラムの追加/削除
 - ・ ネットワーク接続
 - ・ プリンターおよびファックス
 - ・ 自動更新
 - ・ ネットワークセットアップウィザード
- Vista 特有
 - ・ タブレット PC の設定
 - ・ ペンおよび入力デバイス
 - ・ オフラインファイル
 - ・ 問題の報告および解決策
 - ・ プリンタ
- Windows 7 特有
 - ・ ホームグループ
 - ・ アクションセンター
 - －セキュリティセンター
 - ・ リモートアプリケーションおよびデスクトップ接続
 - ・ トラブルシューティング

1.6 クライアント/デスクトップで Windows ネットワーキングをセットアップおよび設定できる。

- ホームグループ、ファイル/印刷共有
- ワークグループとドメインのセットアップ
- ネットワーク共有/ドライブのマッピング
- ネットワーク接続の確立
 - ・ VPN
 - ・ ダイアルアップ
 - ・ ワイヤレス
 - ・ 有線
 - ・ WWAN(携帯電話)
- プロキシの設定
- リモートデスクトップ
- ホーム、社内、公衆ネットワークの設定
- ファイアウォールの設定
 - ・ 例外
 - ・ 構成
 - ・ Windows ファイアウォールの有効化/無効化
- Windows での代替 IP アドレスの設定
 - ・ IP アドレス指定
 - ・ サブネットマスク
 - ・ DNS
 - ・ ゲートウェイ

- ネットワークカードのプロパティ
 - ・ 半二重/全二重/自動
 - ・ 速度
 - ・ Wake-on-LAN
 - ・ QoS

1.7 適切なツールを使用して、予防保全手順を実行できる。

- ベストプラクティス
 - ・ 定期的なバックアップ
 - ・ 定期的なチェックディスク
 - ・ 定期的なデフラグ
 - ・ Windows のアップデート
 - ・ パッチ管理
 - ・ ドライバー/ファームウェアの更新
 - ・ ウイルス対策の更新
- ツール
 - ・ バックアップ
 - ・ システムリストア
 - ・ チェックディスク
 - ・ リカバリイメージ
 - ・ デフラグ

1.8 基本的な OS セキュリティ設定の違いを説明できる。

- ユーザーおよびグループ
 - ・ 管理者
 - ・ パワーユーザー
 - ・ ゲスト
 - ・ 標準ユーザー
- NTFS と共有アクセス権
 - ・ 許可と拒否
 - ・ フォルダおよびファイルの移動とコピーの違い
 - ・ ファイルの属性
- 共有ファイルおよびフォルダ
 - ・ 管理共有とローカル共有
 - ・ アクセス権の伝播
 - ・ 継承
- システムファイルおよびフォルダ
- ユーザー認証
 - ・ シングルサインオン

1.9 クライアント側の仮想化の基本を説明できる。

- 仮想マシンの目的
- リソース要件
- エミュレータ要件
- セキュリティ要件
- ネットワーク要件
- ハイパーバイザ

第2章 セキュリティ(22%)

2.1 一般的な予防方法を適用し、使用できる。

- 物理的セキュリティ
 - ・ ドアロック
 - ・ 共連れ
 - ・ 物理的な文書/パスワード/破砕の安全性確保
 - ・ バイオメトリック
 - ・ バッジ
 - ・ キー FOB
 - ・ RFID バッジ
 - ・ RSA トークン
 - ・ プライバシーフィルタ
 - ・ 網膜
- デジタルセキュリティ
 - ・ ウイルス対策
 - ・ ファイアウォール
 - ・ スパイウェア対策
 - ・ ユーザー認証/強力なパスワード
 - ・ ディレクトリのアクセス権
- ユーザー教育
- 最小権限の原則

2.2 一般的なセキュリティ脅威を比較対照できる。

- ソーシャルエンジニアリング
- マルウェア
- ルートキット
- フィッシング詐欺
- ショルダサーフィン
- スパイウェア
- ウイルス
 - ・ ワーム
 - ・ トロイの木馬

2.3 ワークステーションの安全性を確保するために、セキュリティのベストプラクティスを実施できる。

- 強力なパスワードを設定する
- パスワードを要求する
- ユーザーのアクセス権を制限する
- デフォルトのユーザー名を変更する
- ゲストアカウントを無効にする
- スクリーンセーバでパスワードを要求する
- 自動実行を無効にする

2.4 あるシナリオを想定した場合に、適切なデータ破壊/破棄方法を使用できる。

- ローレベルフォーマットと標準フォーマット
- ハードドライブサニテーションおよびサニテーション方法
 - ・ 上書き
 - ・ ドライブ消去
- 物理的な破壊
 - ・ シュレッダー

- ・ 穴あけ
- ・ 電磁気
- ・ 消磁ツール

2.5 あるシナリオを想定した場合に、SOHO ワイヤレスネットワークの安全性を確保できる。

- デフォルトのユーザー名およびパスワードを変更する
- SSID を変更する
- 暗号化を設定する
- SSID ブロードキャストを無効にする
- MAC フィルタリングを有効にする
- アンテナおよびアクセスポイントの配置
- 無線電力レベル
- スタティック IP アドレスの割り当て

2.6 あるシナリオを想定した場合に、SOHO 有線ネットワークの安全性を確保できる。

- デフォルトのユーザー名およびパスワードを変更する
- MAC フィルタリングを有効にする
- スタティック IP アドレスを割り当てる
- ポートを無効にする

第3章 モバイルデバイス(9%)

3.1 モバイルオペレーティングシステムの基本機能を説明できる。

- Android 4.0.x と iOS 5.x の比較
 - ・ オープンソースとクローズソース/ベンダ固有
 - ・ アプリケーションソース(アプリケーションストアおよびマーケット)
 - ・ 画面の向き(加速度計/ジャイロスコープ)
 - ・ 画面の調整
 - ・ GPS とジオトラッキング

3.2 基本的なネットワークの接続性を確立し、Eメールを設定できる。

- ワイヤレス/携帯電話のデータネットワーク(有効/無効)
- Bluetooth
 - ・ Bluetooth を有効にする
 - ・ ペアリングを有効にする
 - ・ ペアリングのデバイスを探す
 - ・ 適切なピンコードを入力する
 - ・ 接続性をテストする
- Eメールの設定
 - ・ サーバのアドレス
 - POP3
 - IMAP
 - ポートおよび SSL の設定
 - ・ Exchange
 - ・ Gmail

3.3 モバイルデバイスの安全性を確保するための方法を比較対照できる。

- パスコードロック
- リモートワイプ
- ロケーターアプリケーション
- リモートバックアップアプリケーション
- ログイン試行の失敗回数の制限
- ウイルス対策
- パッチ/OS の更新

3.4 タブレットとラップトップ(ノート PC)について、ハードウェアの違いを比較対照できる。

- 持ち込み修理で対応可能な部品が少ない
- アップグレードが容易ではない
- タッチインタフェース
 - ・ タッチフロー
 - ・ マルチタッチ
- ソリッドステートドライブ

3.5 モバイルデバイスの同期化を実行し、設定できる。

- 同期化するデータのタイプ
 - ・ 連絡先
 - ・ プログラム
 - ・ Eメール
 - ・ 画像
 - ・ 音楽

- ・ ビデオ
- PC にアプリケーションをインストールするためのソフトウェア要件
- 同期化を可能にする接続タイプ

第 4 章 トラブルシューティング (36%)

4.1 あるシナリオを想定した場合に、トラブルシューティング理論を説明できる。

- 問題を特定する
 - ・ ユーザーに質問し、コンピューターに対するユーザー変更を明確にして、バックアップを実施してから変更を行う
- 推定原因の仮説を確立する(明白な点を質問する)
- 原因を突き止めるために仮説をテストする
 - ・ 仮説を確認できたら、問題を解決するための次の段階を決定する
 - ・ 仮説を確認できない場合は、新しい仮説を確立し直すか、上位レベルの処理事項とする
- 問題を解決するための実行計画を確立し、解決策を実行に移す
- システム全体の機能を検証し、該当する場合は予防対策を実施する
- 所見、処置、および結果を文書化する

4.2 あるシナリオを想定した場合に、適切なツールを使用して、マザーボード、RAM、CPU、および電源に関連する一般的な問題をトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ 予期しないシャットダウン
 - ・ システムフリーズ
 - ・ POST コードのビープ音
 - ・ 起動時のブランクスクリーン
 - ・ BIOS 時間および設定がリセットされる
 - ・ 間違ったデバイスからのブート
 - ・ リブートを繰り返す
 - ・ 電源が入らない
 - ・ オーバーヒート
 - ・ 音が大きい
 - ・ 時々起るデバイス障害
 - ・ ファンは回転するが他のデバイスに電源が入らない障害
 - ・ インジケータランプ
 - ・ 発煙
 - ・ 焦げ臭い
 - ・ BSOD
- ツール
 - ・ マルチメーター
 - ・ 電源テスター
 - ・ ループバックプラグ
 - ・ POST カード

4.3 あるシナリオを想定した場合に、適切なツールを使用して、ハードドライブおよび RAID アレイをトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ 読み取り/書き込みエラー
 - ・ パフォーマンスの低下
 - ・ クリック音が大きい
 - ・ ブートできない
 - ・ ドライブが認識されない
 - ・ OS が見つからない
 - ・ RAID が見つからない

- ・ RAID の動作停止
- ・ BSOD
- ツール
 - ・ ドライバー
 - ・ 外部エンクロージャ
 - ・ CHKDSK
 - ・ FORMAT
 - ・ FDISK
 - ・ ファイルリカバリソフトウェア

4.4 あるシナリオを想定した場合に、一般的なビデオおよび表示の問題をトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ VGA モード
 - ・ 画面に画像が表示されない
 - ・ オーバーヒートシャットダウン
 - ・ ピクセルの欠損
 - ・ Artifact(アーティファクト: デジタル映像を圧縮した時に生じる特有の歪みの総称)
 - ・ カラーパターンが正しくない
 - ・ 画像がぼやける
 - ・ 画像がちらつく
 - ・ 画像が歪む
 - ・ 変色(消磁)
 - ・ BSOD

4.5 あるシナリオを想定した場合に、適切なツールを使用して、有線ネットワークおよびワイヤレスネットワークをトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ 接続できない
 - ・ APIPA アドレス
 - ・ 制限付き接続
 - ・ ローカル接続
 - ・ 接続が途切れる
 - ・ IP バッティング
 - ・ 転送速度の低下
 - ・ RF 信号が低い
- ツール
 - ・ ケーブルテスター
 - ・ ループバックプラグ
 - ・ パウチダウン工具
 - ・ トナープローブ
 - ・ ワイヤストリッパー
 - ・ クリンパー
 - ・ PING
 - ・ IPCONFIG
 - ・ TRACERT
 - ・ NETSTAT
 - ・ NBTSTAT
 - ・ NET
 - ・ ワイヤレスロケーター

4.6 あるシナリオを想定した場合に、適切なツールを使用して、オペレーティングシステムの問題をトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ BSOD
 - ・ ブートできない
 - ・ 不適切なシャットダウン
 - ・ 自然発生によるシャットダウン/再起動
 - ・ インストール時に RAID が検出されない
 - ・ デバイスが開始しない
 - ・ dll メッセージが見つからない
 - ・ サービスが開始しない
 - ・ 互換性エラー
 - ・ システムパフォーマンスの低下
 - ・ セーフモードでブート
 - ・ ファイルを開けない
 - ・ Missing NTLDR
 - ・ Missing Boot.ini
 - ・ Missing operating system
 - ・ Missing Graphical Interface
 - ・ Graphical Interface fails to load
 - ・ Invalid boot disk
- ツール
 - ・ Fixboot
 - ・ リカバリコンソール
 - ・ Fixmbr
 - ・ Sfc
 - ・ 修復ディスク
 - ・ プリインストール環境
 - ・ MSCONFIG
 - ・ DEFRAG
 - ・ REGSRV32
 - ・ REGEDIT
 - ・ イベントビューア
 - ・ セーフモード
 - ・ コマンドプロンプト
 - ・ システム修復ディスク
 - ・ 自動システムリカバリ

4.7 あるシナリオを想定した場合に、適切なツールおよびベストプラクティスで、一般的なセキュリティ問題をトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ ポップアップ
 - ・ ブラウザによるリダイレクト
 - ・ セキュリティの警告
 - ・ パフォーマンスの低下
 - ・ インターネット接続の問題
 - ・ PC が動かない
 - ・ Windows アップデートのエラー
 - ・ 偽ウイルス対策
 - ・ スパム

- ・ システムファイル名の変更
- ・ ファイルの消失
- ・ ファイルのアクセス権の変更
- ・ Eメールの乗っ取り
- ・ アクセスの拒否
- ツール
 - ・ ウイルス対策ソフトウェア
 - ・ マルウェア対策ソフトウェア
 - ・ スパイウェア対策ソフトウェア
 - ・ リカバリコンソール
 - ・ システムリストア
 - ・ プリインストール環境
 - ・ イベントビューア
- マルウェアを阻止するためのベストプラクティス
 - ・ マルウェア症状を特定する
 - ・ 感染したシステムを隔離する
 - ・ システムリストアを無効にする
 - ・ 感染したシステムを修復する
 - ウイルス対策ソフトウェアを更新する
 - スキャンおよび除去テクニック(セーフモード、プリインストール環境)
 - ・ スキャンおよび更新をスケジュールする
 - ・ システムリストアを有効にし、リストアポイントを作成する
 - ・ エンドユーザーを教育する

4.8 あるシナリオを想定した場合に、適切な手順に従いながら、一般的なラップトップ問題をトラブルシューティングし、解決できる。

- 一般的な症状
 - ・ 表示されない
 - ・ 表示がぼやける
 - ・ 表示がちらつく
 - ・ キーが動かない
 - ・ 無線が途切れる
 - ・ バッテリーが充電できない
 - ・ ゴーストカーソル
 - ・ 電源が入らない
 - ・ Num Lock ランプが点灯する
 - ・ ワイヤレス接続できない
 - ・ Bluetooth 接続できない
 - ・ 外部モニターに表示できない
- 再構築を考慮した分解手順
 - ・ ケーブルおよびネジの位置を記録し、ラベルを貼る
 - ・ 部品を準備する
 - ・ メーカーの説明書を参照する
 - ・ 適切な工具を使用する

4.9 あるシナリオを想定した場合に、適切なツールを使用して、プリンターの問題をトラブルシューティングできる。

- 一般的な症状
 - ・ 縞が入る
 - ・ 印刷がかすれる
 - ・ ゴーストイメージ
 - ・ トナーが用紙に転写されない

- ・ 用紙がしわになる
 - ・ 給紙不良
 - ・ 紙詰まり
 - ・ 接続できない
 - ・ 文字化け
 - ・ 印刷時に縦線が入る
 - ・ 印刷キューの混雑
 - ・ メモリ不足エラー
 - ・ アクセスが拒否される
 - ・ プリンターが動作しない
 - ・ カラープリントの印刷カラーが正しくない
 - ・ プリンターをインストールできない
 - ・ エラーコード
- ツール
 - ・ 保守キット
 - ・ トナーバキューム
 - ・ エアダスター
 - ・ プリンタースプーラー

CompTIA A+ 略語一覧

下記はCompTIA A+認定資格試験で使用される略語の一覧です。受験者は、試験準備の一環として、これら用語を復習し、理解することをお勧めします。

AC	—	alternating current
ACL	—	access control list
ACPI	—	advanced configuration power interface
ACT	—	activity
ADSL	—	asymmetrical digital subscriber line
AGP	—	accelerated graphics port
AMD	—	advanced micro devices
APIPA	—	automatic private internet protocol addressing
APM	—	advanced power management
ARP	—	address resolution protocol
ASR	—	automated system recovery
ATA	—	advanced technology attachment
ATAPI	—	advanced technology attachment packet interface
ATM	—	asynchronous transfer mode
ATX	—	advanced technology extended
A/V	—	Audio Video
BIOS	—	basic input/output system
BNC	—	Bayonet-Neill-Concelman or British Naval Connector
BTX	—	balanced technology extended
CAPTCHA	—	Completely Automated Public Turing Test To Tell Computers and
CCFL	—	Cold Cathode Fluorescent Lamp
CD	—	compact disc
CD-ROM	—	compact disc-read-only memory
CD-RW	—	compact disc-rewritable
CDFS	—	compact disc file system
CFS	—	Central File System, Common File System, Command File System
CMOS	—	complementary metal-oxide semiconductor
CNR	—	Communications and Networking Riser
COMx	—	communication port (x=port number)
CPU	—	central processing unit
CRIMM	—	Continuity Rambus Inline Memory Mode
CRT	—	cathode-ray tube
DAC	—	discretionary access control
DB-25	—	serial communications D-shell connector, 25 pins
DB-9	—	9 pin D shell connector
DC	—	direct current
DDOS	—	distributed denial of service
DDR	—	double data-rate
DDR RAM	—	double data-rate random access memory
DDR SDRAM	—	double data-rate synchronous dynamic random access memory
DFS	—	distributed file system
DHCP	—	dynamic host configuration protocol
DIMM	—	dual inline memory module
DIN	—	Deutsche Industrie Norm
DIP	—	dual inline package

DLT	—	digital linear tape
DLP	—	digital light processing
DMA	—	direct memory access
DMZ	—	demilitarized zone
DNS	—	domain name service or domain name server
DOS	—	denial of service
DRAM	—	dynamic random access memory
DSL	—	digital subscriber line
DVD	—	digital video disc or digital versatile disc
DVD-RAM	—	digital video disc-random access memory
DVD-ROM	—	digital video disc-read only memory
DVD-R	—	digital video disc-recordable
DVD-RW	—	digital video disc-rewritable
DVI	—	digital visual interface
ECC	—	error correction code
ECP	—	extended capabilities port
EEPROM	—	electrically erasable programmable read-only memory
EFS	—	encrypting file system
EIDE	—	enhanced integrated drive electronics
EMI	—	electromagnetic interference
EMP	—	electromagnetic pulse
EPROM	—	erasable programmable read-only memory
EPP	—	enhanced parallel port
ERD	—	emergency repair disk
ESD	—	electrostatic discharge
EVGA	—	extended video graphics adapter/array
EVDO	—	evolution data optimized or evolution data only
FAT	—	file allocation table
FAT12	—	12-bit file allocation table
FAT16	—	16-bit file allocation table
FAT32	—	32-bit file allocation table
FDD	—	floppy disk drive
Fn	—	Function (referring to the function key on a laptop)
FPM	—	fast page-mode
FRU	—	field replaceable unit
FSB	—	Front Side Bus
FTP	—	file transfer protocol
FQDN	—	fully qualified domain name
Gb	—	gigabit
GB	—	gigabyte
GDI	—	graphics device interface
GHz	—	gigahertz
GUI	—	graphical user interface
GPS	—	global positioning system
GSM	—	global system for mobile communications
HAL	—	hardware abstraction layer
HAV	—	Hardware Assisted Virtualization
HCL	—	hardware compatibility list
HDD	—	hard disk drive
HDMI	—	high definition media interface